

PRESS RELEASE

令和6年6月25日
海上幕僚監部

(お知らせ)

令和6年度機雷戦訓練（陸奥湾）及び掃海特別訓練（日米共同訓練及びIBP24.3）について

海上自衛隊は、日米同盟の抑止力・対処力を強化すべく、次のとおり令和6年度機雷戦訓練（陸奥湾）及び掃海特別訓練（日米共同訓練及びIBP24.3）を実施します。

1 目的

- (1) 海上自衛隊の戦術技量の向上
- (2) 米海軍との共同作戦能力の向上

2 期間

令和6年7月16日（火）～7月28日（日）

3 訓練海空域

陸奥湾

4 参加予定部隊等

(1) 海上自衛隊等

訓練統制官：掃海隊群司令 海将補 池内 出（いけうち いずる）
艦艇15隻（護衛艦×2、掃海母艦×2、掃海艦×3、掃海艇×8）
航空機7機（P-1/P-3C×5、MCH-101×2）等

(2) 米海軍

訓練統制官：第7機雷戦隊司令
艦艇2隻（掃海艦×2）
航空機2機（MH-53E×2）
水中処分員、水中無人機、水上無人機

5 主要訓練項目

機雷戦（機雷敷設、機雷掃海、機雷掃討）、水中処分及び無人機運用に係る検証

6 その他

- (1) 陸奥湾での機雷戦訓練は昭和39年から実施しており、今回で43回目です。
- (2) 無人機による対機雷戦能力等の実証であるIBP24.3^{*}を米海軍と共同で実施します。（^{*}Integrated Battle Problem 24.3）
- (3) 滞空型UAV（MQ-9B）1機が試験的運用の一環として、訓練海面上空を飛行します。